

26. 広報委員会

広報委員長 阿戸 学

概要

広報委員会は、国立感染症研究所の研究活動等を広く社会に公表し、理解を得ることにより開かれた研究所とすることを目的として、広報活動に関する業務を遂行している。また、広報委員会の業務を円滑に遂行するために、各部・センター・省令室から委員一名を選出し、戸山庁舎および村山庁舎でそれぞれ、広報運営委員会を組織している。広報委員会の業務を支援するために、委員の他に、再任用職員2名が委員会業務をおこなっている。委員会の庶務は調整課で処理される。

広報委員会の活動内容は以下の通りである。

- (1) 研究所概要(パンフレット、広報ビデオ、インターネットホームページを含む)等の作成およびその更新・改定の実務。
- (2) 研究所一般公開の企画・運営に関わる実務。
- (3) 市民向けセミナー「知の市場」の企画・運営に関わる実務。
- (4) 研究所見学・研修ならびに出前授業、および取材対応に関わる業務。
- (5) その他広報に関すること。

広報委員会で実施された業務の概要は以下のとおりである。

1. 感染研村山庁舎一般公開
2. 感染研戸山庁舎一般公開
3. 市民向けセミナー「知の市場」
4. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業
5. しののめ自治会夏祭りでの感染研ブース設置
6. サイエンスアゴラ出展(大阪市立大学との共催)

業績

1. 感染研村山庁舎一般公開

村山庁舎近隣住民、とくに小・中学性およびその保護者を対象とするため、地域学童の自由研究に参考になるものが望ましいと考え、7月30日(土)13:00-17:00の開催とした。村山庁舎広報運営委員会を新設し、ウイルス第二部片山和彦実行委員長の元、佐賀県の協力とともに、一般公開の企画運営を行った。70名の感染研職員等がスタッフとして参加し、パネル展示(薬剤耐性、インフルエンザ、MERS、感染研業務(国家検定)、病原体の種類、エボラウイルス検査)、サイエンスカフェ、手洗い実習、病原体写真展、ゲーム、模型工作、バイオセーフティラボ体験、敷地内ツアーを実施した。来場者は213名に達し、来場者アンケートの結果からは、概ね好評であることが判明した。

2. 戸山庁舎一般公開

戸山庁舎一般公開は、平成22年度に企画の見直し等を行って以来、9月末または10月初旬に開催されており、継続性と来場者への浸透を図るため、10月1日(土)10:00-17:00の開催とした。村山庁舎一般公開が本

格的に開催されることになり、委員等の業務過多を防ぐことも課題となった。寄生動物部森島実行委員長の元、戸山庁舎ならびにハンセン病研究センターで戸山庁舎広報運営委員会を再組織し、一般公開の企画運営を行った。137名の感染研職員等が参加し、パネル展示(TORCH、ハンセン病、遺伝子獲得機構、口腔細菌、病原体の種類、感染研業務(国家検定・国際協力))、講演、感染症クイズ、サイエンスカフェ、手洗い実習、病原体写真展、ゲーム、模型工作、病原体・昆虫標本展示、バイオセーフティラボ体験、実験体験コーナー、ラボ見学を実施した。来場者は468名に達し、来場者アンケートの結果からは、概ね好評であることが判明した。特筆すべき事項として、浅沼厚生労働省結核感染症課長がサイエンスカフェの演者として参加した。また、国立国際医療研究センターの忽那医師が講演講師として参加した。また、厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎」プロジェクトと共催、佐賀県の協力の元で、知って肝炎プロジェクトスペシャルサポーターである元プロレスラーの小橋建太氏が来場し、肝炎検査の啓発および肝炎クイズを行った

3. 市民セミナー「知の市場」

「知の市場」と共催で、週1回2時間、15コマの感染症総合管理1c「感染症との戦いー現在問題となっている感染症」(4月-7月)、感染症総合管理1d「感染症対策〜ワクチンを中心に」(9月-12月)を開催した。感染研職員のべ30名が講師としてそれぞれ1コマを担当した。受講者数は、感染症総合管理1cが39人、感染症総合管理1dが25人であった。講義の出席、小レポートの提出、及び所長による最終レポートの評価に基づき成績をつけ、それぞれ1cで14人、1dで9人に修了証を授与した。

4. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業

雷塚小学校からの「病気の予防に関する授業」依頼に基づき、雷塚小学校理科室において、平成29年2月10日に、6年生を対象とした授業2コマを実施した。講師は感染症疫学センター多屋馨子室長が、「はしか」について講義、啓発DVDの紹介を行い、その後顕微鏡を用いて、真菌部作成による微生物標本の観察を行った。また、2月24日に1年生を対象とした授業3コマを実施した。講師は昆虫医科学部葛西真治主任研究官が、「蚊について」講義を行い、その後蚊の模型工作を行った。講師の他に、10名の研究職員が観察・工作のサポートとして参加した。

終了後、授業に参加した児童全員および感想文を受取り、好評であったことが伺えた。

5. しののめ自治会夏祭りブース出展

7月23日(土)武蔵村山市大南公園において、所長および副所長が来賓として参加することに伴い、感染研と

してブースを出展した。広報委員会から4名、業務管理課から3名が参加し、7月30日に行われる予定の一般公開の宣伝、パズル等による感染研の紹介と感染症に関する啓発活動を行った。

6. サイエンスアゴラ出展

科学技術振興機構 (JST) が主催する全国規模の科学コミュニケーションであるサイエンスアゴラ (開催地: 東京お台場地域) に、感染症への高まる注目に対して、「微生物リテラシー」の涵養を図るという目的で、大阪市立大学が中心となって出展した「バイキングズワールド 2016」に共催として参加した。感染症の予防法・治療法、身近な感染症、耐性菌などについての解説を掲載したパネル展示、タブレットを使った感染症クイズやゲーム、病原体の写真と映像の展示を行った。感染研の参画として、病原体の電子顕微鏡写真の提供と、職員2名が開催当日スタッフとして参加した。